

## 第13回 袋井市行政改革推進委員会

日時：平成20年5月22日（木）19：00～21：00

場所：袋井市役所 第1委員会室

出席者：石原委員、岡村委員、小池委員、小林委員、寺田委員、永井委員、  
山本委員、前嶋委員  
永田副市長  
池野総務部長、三浦財政課長、伊藤総務課長ほか事務局

---

### <会議の概要>

#### 1 辞令の交付

第2次の委員会設置に際し、永田副市長より「行政改革の一層の推進」に努める共に、委員の皆様には計画の進行管理をはじめ、幅広い視点から忌憚のないご意見を賜りたいとあいさつした。

#### 2 役員選出

会長に小林正樹氏、副会長に小池幸徳氏が選任された。

#### 3 行政改革実施計画の進捗状況について〔平成19年度実績〕

事務局より本市における行政改革の概要と平成19年度の取組実績を報告した。委員から寄せられた主な意見は次のとおり。

##### 指定管理者制度について

指定管理者となって良くなった点はなにか？

施設の管理運営コストの節減と各施設管理者の創意工夫による新たなサービス提供が展開されていること。

〔具体的な事例〕フリーマーケットや水泳教室の開催など

指定管理者制度の適用による財政効果額の算定根拠は？

当該施設の管理運営に係る直営時の支出総額と指定監理委託料との差額に事務量の減による人的効果額を加えたもの。

複数年度に記載があるのは、指定期間中（年間）その効果が累積していくことを表している。

##### 人材の確保について

官民を問わず、いかに有能な人材を確保し、また実力に見合ったポストへの登用や大量退職などによる人的パワーの穴埋めをどうしていくかなどが経営面で大変重要な問題である。

以上